

10月19日

れ い
礼

は い
拝

ま ね
招きの言葉
こ と ば

かい かい の
開会の祈り

し ゆ い の 主の祈り

てん われ ちち
天にまします我らの父よ

ねが
願わくは

み な
御名をあがめさせたまえ

つづ
(続 く)

^み ^{くに} ^き
御国を来たらせたまえ

^み ^{こころ} ^{てん}
御心の天になるごとく

^ち
地にもなさせたまえ

つづ
(続 く)

われ にちよう かに
我らの日用の糧を

きよう あた
今日も与えたまえ

つつ
(続く)

われ つみ おか もの
我らに罪を犯す者を

われ ゆる
我らが赦すごとく

われ つみ ゆる
我らの罪をも赦したまえ

つづ
(続く)

われ ころ あ
我らを試みに遭わせず

あく すぐ いだ
悪より救い出したまえ

つづ
(続 く)

くに ちから さか
国と力と栄えとは

かぎ なんじ
限りなく汝のものなればなり

アーメン

つ み こ く は く
罪の告白の

か ん こ く
勧告

つみ　こくはく　きとう 罪の告白の祈禱

ばんぶつ　つくぬし
万物の造り主、

ひと
すべての人の

さば　ぬし　かみ
裁き主であられる神よ。　（つづ　続く）

わたし

私たちは、あなたの

せい

いまし

したが

聖なる戒めに従わず、

うしな

ひつじ

失われた羊のように

み まえ

まよ

い

御前から迷い出で、

（つづ
続く）

おも こと ば おこな
思いと言葉と行いにおいて

つみ おか み いか
罪を犯し、あなたの御怒りを

まね
招いたことを

ふかかな
深く悲しんでいます。

（つづ
続く）

あわ 憐れみに^と富^{ちち}んでおられる父よ。

おか つみ にく かな わたし
犯した罪を憎み悲しむ私たちに

あわ 憐れみを^{そそ}注いでください。 (^{つづ} 続 く)

^{しゅ}
主イエス・キリストにおいて

^{わたし} 私 ^{ゆる} たちを赦し、^み ^{たま} 御霊によって、

^う 生まれ ^か 変わらせ、

^み ^な 御名 ^{さか} の栄えのために

^い 生きる ^{もの} 者とならせてください。(^{つづ} 続 く)

^{しゅ}主イエス・キリストの^み御^な名に

よって^{いの}お祈りいたします。

アーメン

つ み ゆ る
罪の赦しの

せ ん げ ん
宣言

し へん か
詩編歌127

しゅ た
1. 主、建てたまわずば

いえ たて もの はたら
家、建つる者の 働きはむなし。

しゅ まちまも
主、町守らずば

まも もの みな さ
守る者ら皆 覚めおるはむなし。(1/4)

2. ^{あさ と お}朝疾く起きいで ^{よる やす}夜おそく休み

^{しん く}辛苦のかて得るは

^{むな}空しきことなり

^{しゆ あい}主、愛する者に ^{もの}
^{ねむ あた}眠り与えたもう

3. ^み見よ、^こ子どもたちは

^{しゅ}主の^{めぐ}たもう恵み。

^{たい}胎に^{やど}宿る^み実は ^{むく}報いの^{たまもの}賜物。

^{わか}若き^ひ日の^こ子らは ^{ゆう}勇士の^し手に^てある^や矢。

4. いかなる^{さいわ} 幸^い

や づつ 矢筒をこの矢^やで ^み満^{ひとびと}たす人々は。

と ぐち 戸口にて、敵^{てき}と ^{あらそ}争^ううときにも

は 恥^はずることあらじ。

(おわり)

ぼ っ か い き と う
牧会祈禱

こども^こも^せ説^つ教^き^{よう}

「イエスはまことの^{かみ}神」

ヨハネー2:1～6

に せ い い ち じ ん か く
二性一人格

キリストはまことの^{かみ}神であり、
^{どう じ}同時にまことの^{ひと}人です。

Iヨハネ2^{しょう}章

2「この方こそ、わたしたちの^{かた}罪、
いや、わたしたちの^{つみ}罪ばかりでなく、
^{ぜん せ かい}全世界の^{つみ}罪を^{つぐな}償ういけにえです」

カテキズム

とい
問27 どうして^{すく}救い^{ぬし}主はまことの
^{かみ}神さまでなければならないのですか。

こたえ

答 まことの神さまである方だけが、

わたし

つみ

かんぜん

私 たちの罪を完全につぐない、

わたし

かみ

まじ

かいふく

私 たちを神さまとの交わりへと回復し、

かみ

こ

神さまの子どもとしてくださることが

おできになるからです。

(おわり)

ひ　び　か　て
日々の糧

しゅ　　みち　　ひかり
主のみことばは、道の光、

しゅ
主のみことばは、イエス・キリスト

みみ　かたむ　　め　　はな
耳を傾け、目を離さず、

こころ　　たも
心に保ち、いのちとなる。　　(つづく)

^{しゅ}主のみことばは、^{みち}道の^{ひかり}光、

^{しゅ}主のみことばは、イエス・キリスト

^{みみ}耳を^{かたむ}傾け、^め目を^{はな}離さず、

^{こころ}心^{たも}に保ち、いのちとなる。

(つづく)

^{しゅ}主^ひこそ^び日々の^{かて}糧、いのちのパン

^みほむべき^{こと}御言^ば葉、イエス・キリスト

^{しゅ}ほむべき、主のことば、いのちのパン

^{しゅ}ほむべき主のことば、イエス・キリスト

(おわり)

ウェストミンスター大教理問答

とい 問34 めぐ 恵みの けいやく 契約は、旧 約のもとでは

しっこう どのように執行されていましたか。

答 めぐ 恵みの けいやく 契約は、旧 約のもとでは、

やくそく よげん 約束・預言・いけにえ かつれい すぎこし 割礼・過越・

た よ けい き てい
その他の予型や規定、によって

しつこう
執行されていきました。これらはみな、

きた まえ しめ
やがて来るべきキリストを前もってさし示し、

えら たみ やくそく
選びの民を約束された

たい しんこう
メシアに対する信仰において

つく あ じ だい
造り上げるのにその時代としては

じゅうぶん
十 分でしたから、

とう じ
当時かれらは、そのメシアによって、

かんぜん つみ ゆる えいえん すく
完全な罪の赦しと永遠の救いを

え
得ていました。

(おわり)

し と げん こう ろ く
使徒言行録

しょう
3章

20 こうして、主しゅのもとから慰なぐさめときの時間が
訪おとずれ、主しゅはあなたがたのために
前まえもって決きめておられた、メシアである
イエスを遣つかわしてくださるのです。

21 このイエスは、神が^{かみ}聖^{せい}なる預^よ言^{げん}者^{しや}
た^{くち}ち^{とお}の口^{むかし}を通^{かた}して昔^{ばんぶつ}から語^{あた}られた、
万^{ばんぶつ}物^{あた}が新^{とき}しくなるその時^{とき}まで、
必^{かな}ず^{なら}天^{てん}にとどまることになっています。

22 モーセは^い言^いいました。

『あ^{かみ}なた^{しゅ}がたの神である主は、

あなた^{どうほう}がたの同胞^{なか}の中から、

わたしのような預言者^{よ げんしや}を

あなた^たがたのために立てられる。

彼^{かれ}が語り^{かた}かけることには、

何^{なん}でも聞き^き 従^{したが} え。

23 この預言者^{よ げんしや}に耳^{みみ}を 傾^{かたむ} けない者^{もの}は

みな たみ なか ほろ た
皆、民の中から滅ぼし絶やされる。』

24 よ げんしや みな
預言者は皆、サムエルをはじめ

ご よ げん もの
その後、預言した者も、

いま とき つ
今の時について告げています。

25 よ げんしや し そん
あなたがたは預言者の子孫であり、

かみ せん ぞ むす
神があなたがたの先祖と結ばれた

けいやく こ
契約の子です。

ち じょう みんなぞく
『地上のすべての民族は、あなたから
う もの しゆくふく う
生まれる者によって祝福を受ける』

かみ い
と、神はアブラハムに言われました。

26 かみ ご じ ぶん しもべ た
それで、神は御自分の僕を立て、

まず、あなたがたのもとに

つか
遣わして下さったのです。

それは、あなたがた一人一人を

あく はな
悪から離れさせ、

しゆくふく
その祝福にあずからせるためでした。」

(おわり)

158. あめには みつかい

1. あめには御使い ^{み つか} 喜 ^{よろこ} びうたえ、
土には世の人 ^{つち よ ひと} 御告 ^{み つけ} を聞 ^き けや
わが君 ^{きみ} この日 ^ひ ぞ 死 ^し に勝 ^か ちませる。
生命 ^{いのち} もまこと 道 ^{みち} もイエスなり。

くにたみ
2. よろずの国民

いそ き
急ぎ来たりて、

あらそ
争 いあえりし

むかし わす
昔 を忘れ、

み くに
まことの御国の

さだ
もとい定めし、

ひと み こ
独りの御子をば

きみ
君としあおげ。

われ くびき なや もの
3. 我から 軛 に 悩める者よ、

と し つみ
解けしを知らずや 罪のなわめの

く いのち う
朽つべき生命は はや失せゆきて、

あらわ いのち
現れそめたり くちぬ生命は。

みくに 御国にあだなす あくま か 悪魔に勝ちて

あめ さか 天なる栄えに い 入らせたまえり、

こころ っ 心を尽くして きみ 君にたよらば、

お か 終わりの勝ちこそ て わが手にあらめ。

アーメン

せつ
説

きょう
教

よ げんしや かた
「預言者が語ってきたこと」

辻 幸宏牧師

使徒言行録3章

- ① ペトロが足の不自由な男を癒やした
- ② 民衆が驚いた
- ③ 癒やしは主イエスの御力による
- ④ イエスが十字架の死と復活を遂げられた
- ⑤ 主イエスの十字架の責任は民衆にある
- ⑥ 悔い改めて立ち帰れ

主からの慰め

- ・ 罪の悔い改めと信仰の告白

- 罪の赦しと救い

- 旧約聖書で決められていたこと

主イエスは天に留まっておられる

- ・ イエス・キリストはメシア
→ 聖書で預言されてきた
- ・ 十字架の死と復活を遂げられた
- ・ 今、天に留まっておられ、
再び遣わされる

キリストが再臨されると

- ・最後の審判
- ・万物が新しくなる（新天新地）
- ・神の国が完成する

モーセが語るキリスト

(申命記18:15-22)

- ・預言者が立てられる
- ・偽予言者に注意せよ
- ・キリスト:十字架の死と復活
→ 真の預言者・真のメシア

預言者の言葉に聴け！

- ・キリストの言葉に聴け！

- ・キリストの御力を信じよ！

→ 信じない者は滅ぼし絶やされる

預言者は皆、預言してきた

- ・サムエル(サムエル1・3章)
→ 最初の預言者
- ・預言者が語る「その時」→「今の時」
→ キリストのことを表す

あなたがたは預言者の子孫

- ・主イエス：ルカ11:49-50
「今の時代の者たちが責任を問われる」
→ 律法学者たちは悔い改めない
- ・罪を悔い改めることにより、
神の国に迎え入れられる

アブラハムへの約束

- ・創世記12:2 イスラエルへの祝福
- ・12:3 主を信じるすべての民が
神の祝福・救いに入れられる
- ・恵みの契約：神を信じるすべての民に

イスラエルからすべての民へ

- ・アブラハムからイスラエルに
- ・イスラエルにメシア（キリスト）を遣わせてくださった
- ・イエス・キリストを救い主と信じるすべての民へ

280. 我が身の望みは

1. 我が身の望みは

ただ主にかけられり

主イエスのほかには

よるべき方なし。 (つづく)

(おりがえし)

^わ我が^{きみ}君イエスこそ、

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ。

かぜ はげ
2. 風いと激しく

なみ た やみ よ
波立つ闇夜も、

いかり
みもとに 碇を

お やす
下ろして安らわん。 (つづく)

(お리카えし)

^わ我が^{きみ}君イエスこそ、

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ。

3. この世の望みの

き ゆ とき
消え行く時にも、

こころ うご
心は動かじ

み ちか たの
御誓い頼めば

(つづく)

(お리카えし)

^わ我が^{きみ}君イエスこそ、

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ。

4. ^み見^よぬ^う世に移りて

まみゆるその^{とき}時、

^し主^ゆの^ぎ義をまといて

^み御^{まえ}前に^た立たまし。

(つづく)

(おりがえし)

^わ我が^{きみ}君イエスこそ、

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ。

アーメン

けん
献

きん
金

かんしゃ ささ もの
感謝の献げ物

にん い きようせい
任意であり、強制ではありません

ほう
報

こく
告

本日の予定

- ・教会学校SS(礼拝後)
- ・夕拝(pm5:00) 「夫と妻」

今週の予定

- ・祈りと学びの会（祈祷会）午前・夜
10月22日（水） 奨励：辻幸宏牧師
- ・会堂掃除 第4週担当者

次主日の予定

- 礼 拝 am10:30

司式：吉村弘司長老

説教：辻幸宏牧師

奏楽：高原道子姉

「エレミヤの召命」

- 泉の会、ペテロの会（礼拝後）
- 埼玉東部地区合同役員会（東川口教会）

541. ^{しょう}頌 ^{えい}栄

^{ちち}父、^{みこ}御子、みたまの

おおみかみに、

ときわにたえせず、

みさかえあれ、みさかえあれ

アーメン

しゅく
祝

ふく
福

ア-メンさんしょう
三唱